

科目名	宗教学概論 Introduction to Religious Studies						
科目担当者	中本 幹生 NAKAMOTO Mikio						
単位数	2	配当年次	2 年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [専門教育科目 自由科目] 経営学部・経営学科 [専門教育科目 自由科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(6)
授業の概要	世界の文化や思想を理解する上で、宗教的世界観の理解は不可欠な要素です。この講義では、ユダヤ・キリスト教、イスラームについて簡単に概観した上で、特に東洋の諸宗教を中心に、その思想と世界観を見ていきます。具体的には、インドにおけるバラモン教、初期仏教から大乘仏教への展開を、日本における神道、日本仏教、日本儒教の特質を、また中国における儒教、道教の思想を、古代から中世、近世への歴史的展開に即しながら、その基本的な考え方を概観します。以上の学習を通して、世界の文化の基礎をなす宗教的世界観を受講者が把握できることを目指します。						
授業の到達目標	① 古代から近代にいたる西洋および東洋の諸宗教の内容および歴史を理解することができる。 ② 西洋と東洋の様々な諸宗教の影響関係を、系統的に関連づけて理解することができる。 ③ 諸宗教の伝統的世界観の理解の上に立ち、西洋と東洋の歴史や文化、現代社会の諸問題について、長期的な視野から理解できるようになる。						
授業計画・内容	1	導入：宗教学とは何か					
	2	ユダヤ教・キリスト教、イスラームの概観					
	3	インドの宗教（1）：バラモン教、初期仏教					
	4	インドの宗教（2）：ヒンドゥー教、大乘仏教					
	5	日本の宗教（1）：古代・中世の神道					
	6	日本の宗教（2）：近世・近代の神道					
	7	日本の宗教（3）：飛鳥・奈良・平安時代の仏教					
	8	日本の宗教（4）：中世の仏教					
	9	日本の宗教（5）：近世・近代の仏教					
	10	日本の宗教（6）：日本の儒教の概観					
	11	日本の宗教（7）：朱子学の受容					
	12	日本の宗教（8）：古学の成立					
	13	中国の思想（1）：儒家の思想					
	14	中国の思想（2）：老荘思想					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	毎回、授業範囲を予習し、専門用語の意味等をあらかじめ調べておくこと（毎週 2 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について要点を整理し、不明な箇所を調べておくこと（毎週 2 時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	定期試験				100%	①、②、③	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	なし						
参考文献	授業中にその都度指示する。						
その他	映像資料も適宜使用する予定です。なお、授業計画は、授業の進み具合により、一部変更されることがあります。						